



高付加価値商品の企画 で地元製造業を活性化

〔株〕中島商店 専務

中島基晴さん (38)

福山市御船町1-13-5
電084・922・4870

砂糖や小麦粉、製菓原料などを中心に商う食品の卸問屋だが、今春から福山市鞆地区特産の保命酒を使った飴やジェラート、ゼリーなど味わい深い菓子計5種類を企画・販売している。「地元にこだわった高付加価値型商品の開発や、地元の中小企業が活性化するものづくりが目的。そういう商品で福山を全国に発信することができれば」と企画の狙いを説明する中島専務。地元の授産施設にラベル貼りを委託しており、売り上げの一部は観光やスポーツ振興に役立ててもらおう計画だ。

発売から2カ月余り。土産用に好評で、福山市に寄贈できるまでにこぎつけた。「福山には全国に通用するレベルの競泳選手がおり、まずはその育成支援に活用してもらいたい」と中島専務。経済と地

域貢献が循環する新しいビジネスモデルの確立に意欲を燃やしている。

大学卒業後、大手総合商社の食品部門に勤務。1997年に帰郷し家業に従事する。全国の様々な商品の情報を収集しながら、製造現場とは違った角度から商品づくりを練る。因みに保命酒入りの菓子のレシピはすべて中島専務が考案した。案の定、パンや菓子づくりが得意だという。時間がある時は子どものために腕を奮う家庭的なパパでもある。

「研究機関との強いパイプを活かし、機能性食品の開発も進めていきたい」。卸業務との両輪で家業の底上げを図っている。

び